

第19回 市民賞

島崎洸一さんら5人

11月3日、文化の日に表彰

市政発展に功労のあつた個人や団体に贈られる「市民賞」に、今年はお五人が選ばれました。

市民賞を決める選考委員会（吉村雅男会長・委員十人）は九月二十八日に開かれ、市民から推薦のあつた島崎洸一さんら五人を表彰することを決定。表彰式は十一月三日（文化の日）に市役所で行われ、小笠原市長から表彰状と記念品が贈られました。

《社会福祉》

島崎洸一さん

（金地・76歳）



するとともに、地区民の健康向上を目的とする健康づくり推進業務に積極的に活動している。

そのほか高知検査審査会理事、会長を歴任し、現在は顧問として検査の民主化に寄与した功績は大きいものがある。

《社会教育》

門田早苗さん

（植田・76歳）



昭和四十七年に高知農業高校校長

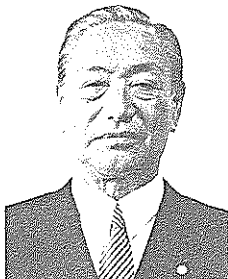
を退職後、植田地区総代及び公民館長として、地区の親ばくと発展に貢献した。

また、昭和五十三年からは久礼田地区公民館運営審議会長として公民館活動に寄与しており、昭和六十年には久礼田地区老人クラブ会長、昭和六十一年からは市老人クラブ連合会長並びに県老人クラブ連合会理事、市ゲートボール連合会副会長の要職を兼務して、老人福祉の向上や健康増進、親ばく交流にと活躍している。

《教育・福祉》

長野正文さん

（大埴・74歳）



昭和四十五年に高知市潮江小学校長を退職後、大蔵地区公民館長並びに市立中央公民館運営審議会

委員として、社会教育の振興発展に努力するとともに、市社会福祉協議会理事などを歴任し、社会福祉の向上、発展に活躍している。

また、市民生児童委員とその協議会副総務として生活に困っている方々の保護、救済や児童の健全育成を目指して活動している。

そのほか、大蔵体育会、吾岡山周辺環境整備推進会など各種団体の役員として活躍している。

《教育・文化》

乾 常美さん

（左右山・73歳）



県立郷土文化会館長などを歴任

して、昭和四十五年に県庁を退職。昭和三十六年から現在までの二十六年間、国府史跡保存会長として史跡や文化財の保護に努力。会員をリードしてその保存に努めている功績は大きいものがあり、国府史跡の発掘に協力、「土佐のまほろば」の記録映画作成、紀貫之の墓参や「門出の祭り」なども主宰している。

また、市社会教育委員長、市観光協会理事、南国史談会長などの要職に就き活躍している。

《農業改善》

高田利度さん

（三島・71歳）



昭和四十年代初期、米の増産の盛んな時代には、地区内稲作集団を結成し、稲作の省力化に努力するとともに、稲作転換に伴って、地元で転作集団組合を結成し、農協単位としては県下有数の転作率達成に努めた。そして、農業機械銀行の先鞭をつけ、農業機械銀行発足後はその役員として活躍。また、北三島長命会長として老人福祉にも貢献。そのほか、市防犯協会監事として、交通安全運動にも努力している。

